

2022年度

司法通訳養成講座 募集要項

開講言語

ポルトガル語

フィリピン（タガログ）語

ミャンマー（ビルマ）語

東京外国語大学

多言語多文化共生センター

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

電話 042 (330) 5867

青山学院大学

青山キャンパス 庶務部庶務課

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話 03 (3409) 6366

本講座の趣旨

グローバル化にともなって地球規模での人の移動がますます進む中、日本においても総人口の2%を超えて外国人が暮らすようになり、多言語・多文化化が進んでいます。外国人にとって住みやすい日本社会を作っていくためにも、司法の現場において多言語・多文化化へ対応できる体制をしっかりと作っていく必要があります。

東京外国語大学と青山学院大学は、法廷、捜査、弁護活動など様々な司法の現場で、異なる言語と文化のあいだに立ち、コミュニケーションの円滑化にあたるスペシャリストを養成するため、「司法通訳養成講座」を開講いたします。講座修了後は、法廷のみでなく、捜査や弁護士との相談など、多様な場面での活躍が期待されます。

本講座は、学校教育法で定められた履修証明プログラムとして開講されます。

2022年度につきましては、以下の要領で受講生を募集します。

カリキュラム

	1限 9:15-10:45	2限 春 11:00-12:30 秋 11:30-13:00	3限 14:00-15:30	4限 15:45-17:15
春 期 間	通訳概論	現代法実務論	司法通訳Ⅰ	法廷通訳実践Ⅰ
秋 期 間		多文化共生基礎	司法通訳Ⅱ	法廷通訳実践Ⅱ

「現代法実務論」については、青山学院大学法学部の正課の授業を受講していただきます。

学修成果の認定

修了者には、履修証明プログラムに基づいた履修証明書を交付します。更に、各科目15回の授業のうち、すべての科目で12回以上授業へ出席し、かつ、司法通訳Ⅰ・Ⅱおよび法廷通訳実践Ⅰ・ⅡのすべてにおいてAの成績評価を受けた者には、履修証明書と併せて、両大学長連名の司法通訳養成講座修了証も発行します。

講座修了後は、各種研修会等を開催し、司法通訳としてのレベルや質の向上を図る機会を継続的に提供します。加えて、修了証を取得した方のうち、希望者については、「司法通訳養成講座修了生」として登録し、司法関連機関から依頼があった際に、司法通訳人として紹介させていただきます。

出願の前に

講座内容をよくご確認の上、ご出願ください。

全講座オンライン※です。教室対面型の授業ではありません。出願申込後および受講開始後に、オンライン講座への受講ができなくなった場合も、検定料、受講料の返金はありませんので、ご注意ください。

※オンライン講座とは

ご自宅からインターネットで接続されたパソコン、タブレットなどを使い受講します。オンライン講座には、リアルタイムとオンデマンドの配信がありますが、2022年度は、原則として全てリアルタイムで実施します。なお、受講にあたっては、適切なシステム環境（本要項に記載の「システム環境の準備」の項を参照）が必要になります。

受付期間

2021年12月13日(月)10:00～ 2022年1月14日(金)23:59

出願資格

原則として大学を卒業した方で、日本語の高度な運用能力に加え、開講言語のうちのどれか1言語について、高度な運用能力があること。なお、日本語を母語としない者の日本語能力については、国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が運営する日本語能力試験のNIを所持していること。

また、外国籍の者については、上記の出願資格のほか、以下に該当する者

- a)履修する年度の4月から1年間以上日本国の在留資格を有している者
- b)年度の途中で日本国の在留資格の期限が切れる者については、期限後も身分に関係なく在留資格の更新が可能である者

注意事項

本講座では、履修証明書が発行されます（本要項に記載の「学修成果の認定」の項を参照）。

発行には以下のいずれかに該当する条件が必要となります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 個別の資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

開講言語

ポルトガル語、フィリピン（タガログ）語、ミャンマー（ビルマ）語

募集人員

上記3言語 合わせて20名程度。

試験日・試験場

一次審査（書類審査）：2022年1月17日（月）～1月21日（金）

二次審査（筆記・口述試験）：2022年2月5日（土）オンラインにて実施

※一次審査として書類選考を行い、その結果を受験者全員へ通知します。

選考通過者（一次審査合格者）には、その後、二次審査を実施します。

検定料

二次審査（筆記・口述試験） 6,000円

納付期限：2022年2月3日（木）までに着金するように振り込んでください。

振込先：三井住友銀行（0009）東京第一支店（931）普通口座

口座番号 9796117 口座名義「国立大学法人 東京外国語大学」

〔注1〕振込手数料は本人負担となります。

〔注2〕検定料の振込を期限までに確認できない場合は、出願を取り消します。

〔注3〕一度納付された検定料は、原則払い戻しができません。

合格発表

一次審査（書類審査）：2022年1月28日（金）

二次審査（筆記・口述試験）：2022年2月25日（金）

いずれも、合否の通知は電子メールで行います。

〔注1〕電話等による合否の問い合わせには応じません。

〔注2〕書類選考、筆記・口述試験の成績・評価については一切開示しません。

〔注3〕二次審査合格者には、受講料振込に必要な書類等を送付します。

受講料

合格者は下記の日時までに着金するように振り込んでください（前納）。

受講料：261,000円（年間）

納付期限：2022年3月11日（金）

〔注1〕振込手数料は本人負担となります。

〔注2〕振込先等については、合格者に発送する書類に同封します。

〔注3〕期限までに振り込みのない場合は、受講を辞退したものとみなします。

〔注4〕分割払いは原則として認めません。

〔注5〕一度納付された受講料は、原則払い戻しができません。

〔注6〕テキスト代が別途かかります。

その他

・辞退者があった場合の取り扱いについて

辞退者があった場合には、繰り上げて合格になる場合があります。

講座の概要について

詳細については、以下のURLをご参照ください。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

出願手順

ウェブ申請フォーム (<https://forms.gle/YCAoS5BufRdJLkGUA>) でお申込みいただきます。

上記以外の方法(郵送、電話、ファックス、持込など)での受付はできません。

1. 必要情報の入力 : メールアドレス、氏名、カナ氏名、生年月日、受講する言語、母語、郵便番号、現住所、電話番号、勤務先・学校名及びその電話番号(所属先がない場合は記入不要)、出願資格

2. 書類の送付 : 所定様式については、
<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/shiho/2022.html>
からダウンロードのこと。

①願書(所定様式)、②志望理由書(所定様式)、③受講する言語及び日本語の運用能力に関する証明書等の写し、④在留カードの写し(日本在住の外国籍の方)、⑤外国在住の方は、身分を証明するものの写し(パスポート等)⑥写真

注1)③については任意。母語についての証明は不要。大学の卒業証明書等言語の学習歴が分かるものでも可

注2)⑥については、1ファイル(上半身正面、脱帽、無背景3ヶ月以内に撮影したもの)、3MBまで、縦320ピクセル以上、横240ピクセル以上

「出願完了通知」は、本出願完了後の自動返信電子メールにて行います(郵送はしていません)。お申込から1日過ぎてもメールが届かない場合は、必ずお問合せ下さい。

出願上の注意

1. 出願締切

所定の出願期間内にお申込ください。ウェブのみの受付となるため、期間を過ぎると出願することができなくなります。ウェブ以外の方法で出願をすることはできません。必ず、期間内にご出願ください。

2. 検定料、受講料について

分割払いは出来ません。また、一度納入された検定料、受講料は、原則払い戻しができません。「オンライン講座」を受講するにあたり必要なシステム環境や準備、および講座内容をよくご確認の上、お支払い願います。

また、受講生側の事情でインターネット接続が切れて受講できなくなった場合でも、受講料は返金しません。

3. メールドメインの設定について

携帯メールアドレスを入力いただく場合には、「tc-jimu@tufs.ac.jp」からのメールを受信できるように設定してください（迷惑メールに振り分けられてしまわないようご注意下さい）。

4. その他

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」、「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」及び「学校法人青山学院個人情報保護に関する規則」に基づき、①願書受付、②審査実施、③合格者発表、④受講手続とこれに付随する業務を行うために利用します。なお、受講生ご本人から同意をいただくことなく、個人情報を第三者へ開示・提供することはありません。

休講・補講

・講師の都合および講座主催者側の通信・機器トラブル※により休講となった場合には、原則として補講を行います。天災等の事情により、やむを得ず休講となる場合は、原則として補講を行いません。 ※連続して30分以上配信できなかった場合

- ・受講生側の事情でインターネット接続が切れて受講できなくなった場合の補講も行いません。
- ・休講・補講のお知らせは「Google Classroom」のストリームへの掲載によりご連絡します。電子メールや電話でのご連絡はいたしません。必ず「Google Classroom」のストリームにてご確認ください。

システム環境の準備

受講にあたり以下のシステム環境が必要となります。

各自、環境の準備と確認をお願いします

(機器・Wi-Fi等の貸し出しはございません。両大学の施設はご利用になれません)。

1. パソコンなどの端末
2. マイク(内蔵または外付け)
3. ウェブカメラ(内蔵または外付け)
4. スピーカー または イヤホン/ヘッドホン
5. プリンター
6. インターネット環境

1. パソコンなどの端末(機器・Wi-Fi等の貸し出しはございません。両大学の施設はご利用になれません)

- ・ デスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか

端末別の動作環境			
	PC	タブレット	スマートフォン
授業視聴	○	○	○
配布資料閲覧	○	○	△※1
課題提出	○	○※2	×※1

- ・ ※1 画面が小さく配布資料などが見づらい点や課題提出ができないことから、パソコンやタブレットでの受講を強くおすすめします。
- ・ ※2 モバイル端末からのレポート課題の提出はブラウザ側でPC版サイト表示をした場合のみ可能となります。

2. マイク

PC 内蔵のマイク、USB ヘッドホンマイク、プラグ形式ヘッドホンマイクのいずれか

3. ウェブカメラ

PC 内蔵のカメラ、外付けカメラ、モバイル端末のカメラのいずれか

※授業は基本的に、ビデオは ON、マイクは OFF(ミュート)での受講を条件とします。

4. スピーカー または イヤホン/ヘッドホン

PC 内蔵のスピーカー、外付けのスピーカー、イヤホン/ヘッドホンのいずれか
マイク付きヘッドフォンセットの場合、音声をクリアに聞く・話すことができます。

5. プリンター

サイトトランスレーションの演習で使用する予定です。

6. インターネット環境について

「オンライン講座」のご受講はインターネットに接続する必要があります。司法通訳養成講座の「オンライン講座」ではリアルタイムで授業を配信する相互通信のため、通信が遅くなったり、途中で切れたりしないよう通信環境がとても重要となります。そのため快適かつスムーズな受講には、「光回線」などの比較的通信速度が安定した有線接続サービスをおすすめします。

※インターネットの接続が切れて受講できなくなった場合でも、受講料は返金しません。

- モバイル通信 (LTE など) の場合は通信容量を気にせずに使える「定額・無制限」のプランやモバイルルーターなどを使用して「Wi-Fi」での接続をおすすめします。
- 「通信プラン」を必ずご確認ください。「オンライン講座」は通信量が膨大となるため、ご契約のプランによっては通信量に制限がかかり通信速度が遅くなり、料金が高額になる恐れがありますので、必ずお申込前にご契約の「通信量」に関してご確認ください。目安として授業 1 回 90 分で 300~450MB 容量を使用します。プランの契約内容によっては通信量の超過分支払いが発生する場合がありますので定額・通信量無制限のプランを推奨します。通信料は受講者負担となります。
- インターネット回線の速度と安定性が不十分だと、動画再生の際に映像・音声途切れる、再生エラーになる、低画質で再生されるなどの不具合が発生します。

- 通信環境は、固定回線（光回線）からの接続が一番安定しています。但し、新規申込は回線引き込みの工事をするため、費用と時間が必要となります（工事費は受講者負担となります）。

推奨環境	
OS	パソコン:Mac OS X(v10.12~最新版)、Windows10 以上、Windows8.1 タブレットおよびスマートフォン:iOS(11.0~最新版)、iPadOS (13.3~最新版)、Android OS (6.0~最新版)
CPU	Intel Core シリーズ相当 (Core i3/Core i5/Core i7) あるいは AMD Ryzen シリーズ相当 (Ryzen3/Ryzen5/Ryzen7) (デュアルコア 2GHz 以上)
メモリ	4GB 以上
Web ブラウザ	Windows (Google Chrome、Edge)、Mac (Google Chrome、Safari)、iPhone(Safari 推奨)、iPad (Safari 推奨)、Android 端末 (Google Chrome 推奨) など最新ブラウザ。Internet Explore は推奨しません。
ソフトウェア	オンライン授業ツールとして Zoom および Google Classroom を使用します。なお、一部の講義については、Webex を使用する可能性があります。 授業によっては、以下のソフトウェアを使用する場合があります。 「Google ドキュメント」(Google アカウントにより使用可能) Microsoft Office (Word/Excel/PowerPoint) 2010 / 2013 / 2016 のいずれか PDF が閲覧可能なソフトウェア 例:Adobe Acrobat Reader など
インターネット環境	光回線 または Wi-Fi (無線 LAN) を推奨 タブレット端末使用の場合は「無線 LAN」や「Wi-Fi」に接続できることを推奨

※動作環境が整っていない場合、快適に受講できないことがあります。あらかじめご了承ください。

講座の中止

- ・出願者数および最終合格者数が一定人数に満たない場合、講座を中止する場合があります。
- ・中止の場合のみ、2月中旬頃に連絡します。

お問い合わせ先

東京外国語大学 多言語多文化共生センター 事務局(広報・社会連携室)

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

電話 042(330)5867 e-mail tc-jimu@tufs.ac.jp

青山学院大学 庶務部庶務課

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話 03(3409)6366 e-mail agu-sll@aoyamagakuin.jp